平成３１（２０１９）年度　熊本県立人吉高等学校　定時制　シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位数	２	開講学年	１年

学習概要 および 学習目標	自然科学や社会生活の発展に数学が果たしてきた役割は大きい。数学は身近な世界を理解し表現するために欠かせない道具であるが、数学自体が自然や世界の新たな見方や技術革新を生み出すエネルギーを持ち、今日も発展を続けている。高校数学は、とりわけ有用な近世以降の数学の基礎を学ぶ場である。数学が人間の築き上げた文化であることへの認識を深めつつ、数学の学習を通じて合理的、科学的、論理的なものの見方や考え方の大切さを理解して欲しい。 一学年で学ぶ数学Ⅰは、まずは数学に必要な文字式の操作になれるのが目標である。さらに、演算や方程式を形式的に処理する方法も習得しながら全体の構造をつかむ。一方で実数の持つ深い意味や不思議なふるまいにも触れるので、数そのものへの大きな関心を持って欲しい。

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標	自己評価欄
１学期	整式 文字と文字式　多項式 整式の加法・減法 整式の乗法と乗法公式 因数分解	・文字式、整式について理解し、加法、減法、乗法ができるようになった。 ・分配法則や展開公式の導入によって展開ができるようになった。 ・展開公式を逆に利用して因数分解ができるようになった。	取組　ＡＢＣＤ 理解　ＡＢＣＤ 関心　ＡＢＣＤ
２学期中間	実数 平方根とその計算 実数 数の構造	・平方根について理解し、根号を含む計算に習熟した。 ・有理数、無理数の違いを理解し、演算、大小等いろいろな側面から見た実数の性質について理解を深めることができた。 ・実数の深遠な世界に興味を持った。	取組　ＡＢＣＤ 理解　ＡＢＣＤ 関心　ＡＢＣＤ
２学期末	方程式と不等式 １次方程式 不等式とその性質	・方程式の性質を理解し、１次方程式が解けるようになった。 ・生活や自然に関わる問題を、方程式を作って解決できた。 ・不等式の表す意味や性質が理解できた。	取組　ＡＢＣＤ 理解　ＡＢＣＤ 関心　ＡＢＣＤ
学年末	１次不等式 連立不等式の解法 不等式の応用 １年間の復習	・単なる大小関係と、変数の範囲を表す不等式の違いを理解し、実際に　１次不等式を解いて解を求めることができた。 ・いろいろな方法で連立方程式が解けるようになった。	取組　ＡＢＣＤ 理解　ＡＢＣＤ 関心　ＡＢＣＤ

使用教材 参考図書	教科書：実教出版　高校数学Ⅰ 参考文献：とりあえず以下をあげておく。数学の本は、教科書以外にこそ興味深いものが多い。 ①　「なぜ数学を学ぶか」武藤徹著　　②「数学学習法」遠山啓著 ②はやや高級な内容である。数学が好きな人におすすめする。
学習方法	学習とは教えられた項目を丸暗記することではないが、とりわけ数学においては、なぜという疑問を大事にしながら、自ら考え理解しようとする姿勢が求められる。 定時制生徒は時間が限られているとは思うが、なんとか学習時間を確保して予習復習の習慣を身につけて欲しい。特に予習をして授業に臨むことが大切である。 また、授業ではできるだけ演習や作業を取り入れて行うつもりである。楽しみながら一人一人心に広がる数学の世界を創造して欲しい。
評価方法	定期考査（７０％）および、平常点（30％ ※問題演習・出席状況・提出物等）を数値化し，総合的に評価する。また、課題考査は平常点に加味する。